

2013年9月3日

WTCC 日本ラウンドに YOKOHAMA ブースを出展

横浜ゴム（株）は、8年連続でオフィシャルタイヤサプライヤーを務める「FIA 世界ツーリングカー選手権（WTCC）」の日本ラウンドに YOKOHAMA ブースを出展する。タイヤ、ホイール、チューニングカーの展示やレース会場で人気の ADVAN グッズ販売に加え、タイヤの性能を体感できるアトラクションを実施予定。今年6回目となる WTCC 日本ラウンドは9月21日～22日、鈴鹿サーキット東コース（三重県鈴鹿市 全長：2.243 km）で開催される。また同日、フルコース（全長：5.807km）では WTCC と同じくヨコハマタイヤワンメイクのスーパー耐久シリーズ第6戦が行われる。

YOKOHAMA ブースのタイヤコーナーでは、グローバル・フラッグシップブランド「ADVAN（アドバン）」や低燃費タイヤブランド「BluEarth（ブルーアース）」、スタッドレスタイヤブランド「iceGUARD（アイスガード）」など乗用車用タイヤの主力全ブランドを紹介。アルミホイールコーナーでも2013年最新モデルの「ADVAN Racing RGⅢ（アドバン・レーシング・アールジー・スリー）」や「ADVAN Racing RS-DF（アドバン・レーシング・アールエス・ディーエフ）」を含む12ブランド、38本の商品を展示する。また、サーキット内の交通教育センターでは転がり実験やウェット制動体験を通じて優れた低燃費性能とウェット性能を実感して頂き、環境保護と安全性の向上に貢献するヨコハマタイヤをアピールする。このほか、「BluEarth-A（ブルーアース・エース）」を装着してパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクラムに参戦したオリジナル EV レーシングカーや、横浜ゴムの航空部品や接着剤など各事業部門の技術を結集して開発したコンセプト EV 「AERO-Y（エアロ・ワイ）」を展示するなど様々なファンサービスでレースを盛り上げていく。

WTCC は F1、WRC、WEC とともに FIA（国際自動車連盟）が管轄する世界選手権で世界最高峰のツーリングカーレース。今回の日本ラウンドは WTCC 開催200ラウンドの記念イベントとなる。横浜ゴムは2006年から環境に配慮したオレンジオイル配合の ADVAN レーシングタイヤをワンメイク供給しており、2015年までの供給が決定している。なお、横浜ゴムは現在、FIA の世界選手権にタイヤを供給する唯一の日本のタイヤメーカーである。



多くの来場者で盛り上がる YOKOHAMA ブース
(2012年)



タイヤコーナー（2012年）

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：坂本
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570